



「雪若丸」は葉色を低下させないことが重要！ 根を健全に保って、葉色を維持しましょう！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月30日現在の生育は、指標値に比べ草丈は並み、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色は濃くなっています。

茎数が過剰となっているほ場では、直ちに中干しを強めに行い無効分げつを抑制します。また、土壤に酸素を供給して根圏を健全に保ち、葉色を維持しましょう。

平坦部「雪若丸」の生育（6月30日）

項目	調査値	指標値	指標比・差	
草丈	41.9 cm	41.5 cm	101	並み
茎数	710 本/m ²	616 本/m ²	115	多い
葉数	9.7 枚	9.4 枚	0.3	やや多い
葉色 (SPAD)	45.7	43.3	2.4	濃い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎ 遅れず、生育に合わせた施肥を！

6月30日の「雪若丸」の適正な葉色は40～44であり、「はえぬき」や「つや姫」より高めです。この葉色を維持することがポイントです。

穂肥の時期が遅れたり、量が多いと品質が低下し、玄米粗タンパク質含有率が高まります。穂肥は遅れずに、適量施用しましょう。

生育量	茎数(本/m ²)	葉色 (SPAD)	追肥対応※
適正	560～750	40～44	出穂25日前、窒素成分1.5kg/10a
生育不足	560未満	40未満	早めに追肥する
生育過剰	750以上	44以上	追肥量を減らす

※6月中に窒素肥料を補完施用した場合は減肥する

斑点米カメムシ類やや多い！畦畔の草刈りを徹底！
いもち病の感染好適日が続いています。ほ場を観察し、早期発見、早期防除を徹底！